

『自動車リサイクルの広報のあり方についての消費者懇談会』の開催報告

1. 本財団ホームページ掲載内容(6月30日掲載)

(1)開催趣旨

公益財団法人自動車リサイクル促進センターは、2014年5月22日に『自動車リサイクルの広報のあり方』に係る消費者懇談会を開催いたしました。

本財団は2013年6月24日に自動車リサイクル法の指定法人10年を迎え、同年11月22日に講演とパネルディスカッションで構成するシンポジウムを開催しました。その際に、パネルディスカッションにご参加いただいた鬼沢良子氏からのご提言をもとにこの懇談会を企画したものです。

ご提言の内容は、『自動車リサイクルや自動車リサイクル促進センターの存在・活動が消費者、特に女性に知られていない。消費者や社会に自動車リサイクルの法律や運用する組織の透明性や公平性が知られることが大切なのではないかと思っているが、知れ渡っていないのを残念に感じている。もっと女性の方に知っていただくために、女性を集めて意見を聞いてはどうか』さらに『集まっていた方を通じて情報発信をしてもらってはどうか』というものでした。

当日は、環境問題関連のNPO等でご活躍されている15名の女性の方に、活発な意見交換をして頂き、大変有意義な懇談会となりました。

(2)開催概要

・開催日時：2014年5月22日(木)13:30～16:00

・消費者15名

・テーマ

- ① 自動車リサイクルへの一般的なイメージ
- ② リサイクル料金(預託金)を管理・運用する本財団への一般的なイメージ
- ③ 本財団ホームページによる消費者向けの情報提供のあり方

懇談会の冒頭に、本財団の葛西専務理事より、ご挨拶と自動車リサイクル制度の概要についての説明を行いました。



(3)主なご意見

懇談会は、3つのテーマごとにご意見をうかがいました。

テーマ(1)自動車リサイクルへの一般的なイメージについては、「自動車リサイクル制度の内容は知らなかった」「制度があることは知っていたが、クルマを購入するときにもあまり気にしていなかった」「自動車リサイクル法ができたことにより不法投棄が減って良かった」「自動車メーカーを始めとした自動車関連産業が一丸となって取り組んでおりすばらしいことだ」「消費者はもっとクルマを長く使った方が良いと思う」「部品のリユース情報がもっと知りたい」といったご意見がありました。

テーマ(2)リサイクル料金(預託金)を管理・運用する本財団(指定法人)への一般的なイメージについては、「指定法人には天下りが多いと思っていたが、そうではないことがわかった。誤解しているひが多いと思うので、広く知ってもらった方がよい」「預り金は職員の人件費や福利厚生にも使われていると思っていたが、リサイクルや情報管理以外には使われていないことがわかった。」「人件費を自動車メーカーが負担しているということを一般に広く知ってもらった方がよい」「多額の預り金をしっかりと管理していることを知ってもらった方がよい」「預り金の可視化は良いことだ」等のご意見がありました。

テーマ(1)、(2)を踏まえてテーマ(3)本財団ホームページによる消費者向けの情報提供のあり方については、「お金をかければよいというものではない」「クルマを購入するタイミングで自動車販売店がきちんと説明するということが大事だ」「消費者もクルマの保有の有無に拘らず3Rの取り組み状況を知らなければならぬ」「直接、消費者と接点を持ち、お互いの顔が見える形で広報に取り組んだ方がよい」「消費者を貴団体ホームページに誘導する仕掛けが必要」等のご意見を頂きました。

参加された15名の方から頂いた上記をはじめとする様々なご意見やご提案につきましては、今後の活動の参考とさせていただきますと考えております。

2. 本財団ホームページ掲載していないその他のご意見

- ・ 様々な関係者に向け多くの情報が発信され、大変充実している
- ・ 発信する情報が自動車メーカーや関係者サイドによってなく中立性を感じる
- ・ 沢山の情報があるため最初に訪れる方が何処を見るべきか分かりにくい
- ・ 消費者がまずどこを見るべきか、アピールポイントが分かるようにした方がよい
- ・ 自動車リサイクルのコンセプトや制度ができたきっかけが分かるようにした方がよい
- ・ 子供でも理解できる内容が大人にも丁度よくわかりやすい
- ・ お金をかけない情報発信の仕方を考える必要がある
- ・ 自動車業界によるがんばっている様々な取り組みをもっと情報発信してほしい
- ・ もっとリサイクル部品の情報を知りたい
- ・ 自動車を持たない方もリサイクルの取り組みを知らなくてはいけない
- ・ 国にも協力してもらい、質の良い情報を学校教科書に掲載できるようにしてほしい
- ・ リサイクル料金の使途がシュレッダーダストおよびエアバッグ類の適正処理、フロン類の破壊処理に要する費用であることを知らなかった
- ・ 自身が買った自動車を長く乗るという観点だけでなく、一つの自動車を何人に亘ってでも長く使うということが大事
- ・ 大きなお金を預かっていることだけでなく、これを第三者目線で監視する仕組みにも驚いた

以上